

てんぽう新聞

09.11. No 150
 発行所 市岡日出夫
 責任 0883-88-5292

十月にはいり、十日には剣山が初氷。初霜といふ氣に寒くなり、紅葉まじはじめる。それども、寒かったのは二三日。その後は日中は長時間のよい日々が続きました。今年の紅葉は、赤と黄がともとも目にとまるほど鮮やかでグラデーション。車で走るといっても、ペダルをゆるめこまう美しや。おもむかすめ息が出てこまうことが再びありました。祖谷の自然美の深さを新ためて感じる日々。自然が作り出す色遣いは、見ているとあまが、時間の流れを七転七回こまう程。



剣山の紅葉

おもむかす

ため息が出る

綿 絵



一いふ祖谷で暮らしていることが、えらびと思つ瞬間。こゝを大切に、残して行くことが、本来の観光の姿だと強くおもひ至りました。それ程、きんかた、いやまだ続いている紅葉の季節です。剣山周辺、霧谷川、落合峠、そして、菅生から。剣山の越にかけこの国道といは、目をみはる個所が次から次へと続きます。奥祖谷二重かおら橋も赤と黄色のモミジが大変印象に残る色遣いで、こゝを妙境、こゝを祖谷、こゝを自然美、語るより見ることだ。

何十回も山に美しと言つても、たゞ一面見ただけの力があつたらうと心に伝わりませう。まだの人かいたら、まぶ、近の山へ足を運んでみて下さい。里の人はこゝから、ですから。

27年、この念を結成し、自分たちの集しんぐる事や、祖谷のよさを伝えたい。発行した所、皆さんに面白がらうから、集しんぐるえたりして、いつの間にか、毎月の発行や、カラーは真が入ったりして、十一月で150号になりました。ゆおが、二七部部だったのが、今では三枚を越える発行になりました。何かしら、今では私の集しみにもびつて、発行する事が義務のようになっていきました。ごち、一度だつてやめようとか、苦しいとか、感ひた事はありません。あの人々が持っている、集しんぐる、その便りが届く度に、よかつたりとおもいます。徳島の山という月刊誌ご取材がありがとうございます。



てんぽう新聞 150号に